

# 中学生パワー全開 素晴らしい成果

中学校教諭 榎 田 英 二

同志社中学生の活躍ぶりを紹介します。

## 英語科

高円宮杯全日本中学校英語弁論大会  
京都府下大会 第3位 山崎 瑞貴

## 国語科

第19回京都市中学校朗読コンクール  
最優秀賞 長谷川愛子  
「読書感想文コンクール」

京都府私立学校図書館協議会 会長賞

飯田一樹、池本亜美、潟山詩織、奥井 萌

## 社会科

「全国中学生税の作文コンクール」

国税庁長官賞 奥井 萌  
約40万点の応募作品の中で全国5位に入賞。  
本校生として4年ぶり5回目の受賞である。

## 美術部

京都府私立中学高等学校写生大会

美術工芸研究会賞

## 軽音楽部

第27回近畿地区高校・中学校軽音楽系クラブ  
コンテスト「We are Snaker Age 2007」  
第3位 同志社中学校軽音楽部

田中絢子、由岡麻衣香、今井優梨香  
西村沙織、北川佳奈、村田 文

全国バンドコンテスト「The 1st Music Revolution」

## JEUGIA FINAL大会

JEUGIA FINAL大賞 Arandara

松田あすか、田中絢子、今井優梨香

北川佳奈、村田 文

大学生にまじったの受賞見事でした。

京都私学フェスティバル2007バンドコンテ  
スト・優秀賞

Arandara 高校生にまじったの受賞でした。

## 陸上競技部

水谷彩乃 近畿中学校総合体育大会

女子200m 第1位 2分54

中学女子400mで、4月に5分30の京

吉川貴啓

都中学新記録を樹立。  
ジュニアオリンピック陸上競技大会

に京都府代表リレーメンバーの第4

走として出場。決勝では7位

準決勝で4300の京都中学新記録を

樹立。

京都府中学校総合体育大会 女子総合 2位

その他多数の表彰を受ける

## 剣道部

京都府中学校選手権総合大会

団体 男子 優勝 女子 3位

個人 3位 横手滉大

京都府中学校総合体育大会 男子団体 3位

京都市中学校秋季新人剣道大会

団体 男子 優勝 女子 2位

フリーの部 優勝 安田 俊  
一年の部 優勝 北田海人

## テニス部男子

夏季市内大会

団体戦 優勝  
個人戦ダブルス

ベスト4 松井悠太・田野靖尚

夏季府下大会

団体戦 準優勝

## テニス部女子

夏季市内大会

団体戦 準優勝

## ラグビー部

京都府中学校総合体育大会 3位

## バトミントン部

京都府中学校選手権総合体育大会

女子ダブルス

ベスト4 明石悠佳、寺島尚香

秋季新人大会

女子団体戦 ベスト4

京都府私立中学高等学校総合体育大会

女子団体戦 準優勝

## 野球部

京都府私立中学高等学校総合体育大会

軟式野球の部 3位

## 卓球部

京都府私立中学高等学校総合体育大会

女子団体戦 3位

紙面の都合上、紹介できませんでしたが、その他さまざまな場面で自分の力を十分に発揮し、素晴らしい成果を上げた生徒たちがいたことを報告しておきます。

## 奈良県立医科大学との 学術交流に関する 包括協定締結後の活動について

2007年6月26日に女子大学は、奈良県立医科大学と学術交流に関する包括協定を締結した。この協定は、両大学の教育・研究活動全般にわたる交流および連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的としている。協定締結後、奈良県立医科大学・同志社女子大学連携協議会を発足させ、両大学から各5人の委員を選出し、今後の具体的な取り組みについて協議を重ねた結果、2007年度の連携事業として以下の取り組みを行った。

(1) 奈良県立医科大学附属病院における院内コンサートを実施した。第1回は11月22日に「錦秋ヴァイオリンコンサート」を開催。女子大学音楽学科演奏専攻管弦打楽器コース(ヴァイオリン)の3年次生二枝祥子さん、辻衣里子さんが演奏する音色に、入院患者の方々を中心とした130人の聴衆が聴き入った。第2回は12月20日に「木

管五重奏クリスマスコンサート」を開催。女子大学音楽学科演奏専攻管弦打楽器コース4年次生西川智子さん(フルート)、石橋尚子さん(オーボエ)、伊藤実紗さん(クラリネット)、小濱亜紀子さん(ファゴット)、小坂智美さん(ホルン)の5人が美しい音色を奏で、200人を超える聴衆を魅了した。

(2) 女子大学EVE(11月25日)を奈良県立医科大学学生、教職員が見学した。

(3) 12月8日女子大学京田辺キャンパス頌啓館ホールにて両大学の教職員、学生および一般を対象とした第1回シンポジウム「チーム医療のあり方を考える―栄養療法と院内感染対策を中心に―」を開催した。約320人参加のもと、まず奈良県立医科大学の吉岡章教授が「いま、なぜチーム医療が求められるのか」と題して基調講演を行い、引き続き奈良県立医科大学から

松村雅彦講師(総合医療学)、同附属病院看護部から徳谷純子看護主査(感染管理認定看護師)、女子大学からは生活科学部食物栄養科学科の小松龍史教授、薬学部医療薬学部の松元加奈専任講師が、それぞれの専門の視点から発表を行った。その後、奈良県立医科大学の吉橋正典教授と女子大学の森田邦彦教授の司会により総合討論が行われた。総合討論ではフロアからも意見や質問が出されるなど、活発な討論がなされ、「それぞれの学部教育においてもチーム医療についての教育が行われるべき」との提言がされた。



今後、教育・研究面におけるさらなる連携について連携協議会において協議、企画、実行し、両大学の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目指すこととしている。

## 『平和コンサート』三京都』

中学校教諭 管弦楽部顧問 矢淵 多佳子

2007年8月11日(土) 同志社礼拝堂にて、長崎の活水中学高等学校コーラス部・アンサンブル部、京都の平安女学院高等学校コーラス部、同志社中学校管弦楽部のジョイントで『平和コンサート』三京都』を開催しました。

2007年3月、キリスト教同盟の研修会で、長崎にある活水高等学校を訪れたことがきっかけです。活水高等学校は被爆校舎を保存し、その建物の最上階をチャペルとして礼拝を守っています。そこで、美しいハーモニーを持つ高校生のコーラス部・アンサンブル部、指導される先生方と出会いました。活水高等学校の岩永崇史先生から、同校の瀬尾照明先生が被爆60年を祈念して作曲された『平和賛歌』のこと、毎年さまざまな場所で演奏されていること、ぜひ京都でも実現させたいとの

思いを聞かせていただきました。それから、数カ月、長崎と京都間で連絡を取り合いながら、『平和賛歌』に原詩の朗読を加え、中学校国語科の教員の協力を得ながら、活水高等学校コーラス部・アンサンブル部、平安女学院コーラス部、そして同志社中学校管弦楽部のジョイントという形で、今回のコンサートの実現となりました。

前日の平安女学院での練習、当日は記録的な酷暑の中、朝からのチャペルでのリハーサルと、まずは暑さとの戦いでもありましたが、詩の朗読を交えた『平和賛歌』の合唱と演奏は、原爆投下62年を経た今、当時を知らない私たちが、その繰り返してはならない悲劇を実感し、平和を願う思いを抱くよい経験となりました。演奏者のみならず、聴衆も思いを一つとすることができたように思います。

音楽は世界共通のことば。時を越え、場所を問わず、人と人が心を通わせることのできるものだと考えています。長崎と京都の中高生が音楽を通して平和を考える時を持つことで、過去の過ちを心に刻み、平和を実現する人として成長していく一歩となったことと思います。同時に、かつて学業半ばで戦場に赴く学生を送り出す場ともなった同志社礼拝堂が、永遠に平和をつむぎだす場であり続けることを祈ります。

このコンサートは、朝日新聞、京都新聞の取材もあり、翌日の紙面には中高生が平和を考える場を持ったと、写真とともに大きく報道されました。今後、同志社のシンボルである同志社礼拝堂が、開かれた形でさまざまな利用される事を願っています。

# 「金融と経済の明日」高校生論文コンクール 女子高校1年 人見陽子さんが特選・金融担当大臣賞を受賞

女子中学校・高等学校教諭 酒井由行



景が、今も忘れられずに記憶に残っている。

つよい日差しに照らされて陽炎がゆれている通りの向こうから、ゆつくりとした速度で自転車がふらつきながら進んでくる。といっても、初めからそれが自転車だとわかっていたわけではない。何かの金属の小さな塊がピラミッドのように積み上げられ、その下の方で車輪が回っているのが見え、それが私の方に向かって、近づいてくるのがわかっただけである。

徐々に近づいてくる自転車。その正体は一体何でしょう。その遭遇は人見さんに何をもたらしたのでしょうか。詳細はぜひ主催者ホームページ「知るぽると」にて全文をご覧いただきたいと思います。

人見さんはわかりやすく表現することを心がけたそうです。専門的な用語

は用いていません。タイトルとなった「神の見えざる手」という語すら小論文の後半にようやく登場します。また、大仰な表現や早急な断定もありません。情理の流れを余すところなく丹念に述べ、結びに至るまで無理なく説得的に論を運んでいきます。

冷静な筆致ですが、そこには温かいハートが宿っています。一読すればアダムスミスら先達に通底する「経世済民」の志を確かに感じとることができるでしょう。

なお、このコンクールでは同校から他に神戸千晶さん、木村麻里さん、玉置絢可さん、三輪夏希さんの4人が佳作に入選しました。

また、人見さんは昨年に国税庁主催「中学生の税に関する作文」で財務大臣賞を受賞しており、今回とあわせて2年続けての榮譽となりました。

「金融と経済の明日」第5回高校生論文コンクールにおいて、同志社女子高校1年生 人見陽子さんが特選・金融担当大臣賞を受賞しました。このコンクールは日本銀行情報サービス局内に事務局を置く金融広報中央委員会が主催するものです。

受賞作「神の見えざる手」は次のように始まります。

「数年前の夏の暑い日に見たある光